



# 枚方市病児保育室だより

R5 年夏号

いよいよ 夏本番を迎えます。異常な暑さの日もあり建物の外に出ると、むっとした空気に包まれ大人でも辛いですね。これからの時期は、今まで以上にこまめな水分補給が欠かせません。病児保育室でも、水分補給を促し、体調の変化に気を付けて保育をしています。

4～6月の枚方市病児保育室の利用は、普通風邪部屋では鼻咽頭炎・上気道炎が、感染症の部屋ではRS ウイルス・6月はヘルパンギーナ・アデノウイルスに罹患されたお子さんの利用が多かったです。最近では、予約の電話も増えています。できるだけ多くの方にご利用してもらうために、キャンセル時のご連絡等、ご協力をお願いします。

病児保育室に入室している子どもたちは、病児保育室が安心して過ごせる場所だとわかると、笑顔もみられ、楽しく過ごしています。また症状が落ち着き始めると活気が出て、表情もよくなります。そんな様子が見られると職員も嬉しく思います。

これからも病児保育室での遊び等も工夫しながら、安心して過ごせるように保育をしていきます。

病児保育室利用案内の協力医院一覧の医院名に変更や追加がありますので、ホームページにて確認していただくか、病児保育室にお問い合わせください。

子どもの発熱、体調不良時、お仕事が休めない時は、病児保育室をご利用ください。利用の際は、まず病児保育室に電話して、部屋の空き状況を確認し、予約のうえ入室をお願いします。

市立ひらかた病院内 Tel(072-847-7130)  
利用時間(月～金)8:00～18:00  
(土)8:00～13:00

\*延長保育は行っておりません\*

★枚方市病児保育室は、市立ひらかた病院の玄関の右側の通路の奥にあります。

**高熱に注意!** **夏かぜ**

夏かぜを起こすウイルスは、冬のものとは異なり、高温多湿を好むタイプです。せきや鼻水は少なく、肺炎などに進行することはまれです。夏に流行する主な病気に、プール熱、ヘルパンギーナ、手足口病などがあります。

- 高熱が出る
- 目の充血、痛みがある
- のどが赤くはれ、痛みがある
- 体に発しんが出る

これらの特徴があつたり、いつもと様子が違うときは、必ず受診し、医師の診断を仰ぎましょう。

★プール熱はアデノウイルス感染症(咽頭結膜熱)と診断名が付きます